

本日の目標



処方の特徴を知る

生薬を因数分解する

漢方スクエアを活用する

五苓散

傷寒論

四苓湯
『温疫論』

猪苓(去皮) 18銖、
沢瀉 1両6銖、
白朮 18銖、
茯苓 18銖、
桂枝(去皮) 半両

ツムラ本品2包(5.0g)中、
下記の割合の混合生薬
の乾燥エキス1.4gを含有
します。

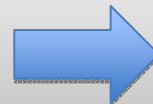
猪苓 1.98g
沢瀉 3.30g
蒼朮 1.98g
茯苓 1.98g
桂皮 1.32g



利水

+

理気



利水の効果 ↑

白朮と蒼朮の違い

白朮

白朮は(補気>燥湿)

オオバナオケラ *A. ovata* DC.
の根茎を充てている

蒼朮

蒼朮は(補気<燥湿)

キク科ホソバオケラまたはその変
種の根茎



補脾→補気

利水

桂枝と桂皮の違い

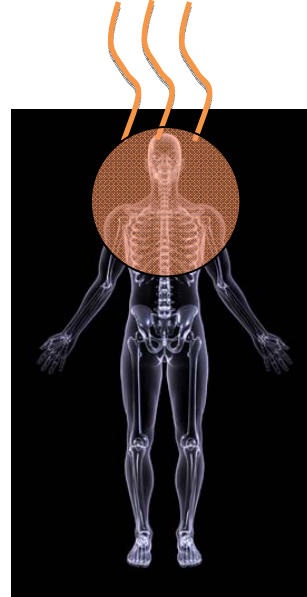
いわゆるシナモン、
ハツ橋のニッキ

桂枝

桂枝(先端の枝)
辛甘・温
発汗解肌を特長とし、
主として肺・心・膀胱経

上焦

表 発散

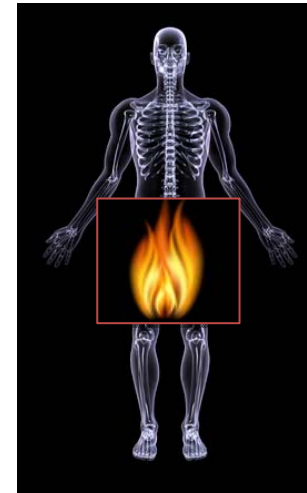


桂皮

肉桂(幹の皮)
辛甘・大熱で作用が強く、
裏を温め腎陽の温補

下焦

裏 温



日本では区別されることは少なく桂枝で代用

法畑臨漢方研究会

2014/9/6

五苓散

傷寒論

四苓湯
『温疫論』

猪苓(去皮) 18銖、
沢瀉 1両6銖、
白朮 18銖、
茯苓 18銖、
桂枝(去皮) 半両

ツムラ本品2包(5.0g)中、
下記の割合の混合生薬
の乾燥エキス1.4gを含有
します。

猪苓 1.98g
沢瀉 3.30g
蒼朮 1.98g
茯苓 1.98g
桂皮 1.32g



補気の効果 大

利水の効果 大

補中益気湯

《内外傷并惑論》

黄耆・
甘草・
人参 各1錢、
升麻・
柴胡 各2分、
橘皮・
当帰・
白朮 各1錢

＜ツムラ＞

黄耆	2.0g
人参	2.0g
蒼朮	2.0g
当帰	1.5g
柴胡	1.0g
升麻	0.5g
陳皮	1.0g
生姜	0.25g
大棗	1.0g
甘草	0.75g

補脾

補血

益気

理気

補気



五苓散

+

補中益気湯



利水の効果 ↑

水毒



水滯：水が多い



五苓散 ◎

陰虚：水が少ない



五苓散 △

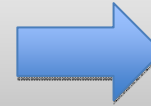
応用例



五苓散

+

補中益気湯



利水の効果 ↑

柴苓湯
清心蓮子飲
猪苓湯

十全大補湯
人参養栄湯
六味丸